

令和2年度 新潟県立大学 特別受講生（前期）募集要項

新潟県立大学では、県民のみなさんの生涯学習意欲の高まりにこたえとともに、地域に開かれた大学となることをめざし、特別受講生制度を実施しております。

これは、授業科目の一部を県民のみなさんに開放し、学生とともに学んでいただく制度です。

また、この公開科目は、新潟県教育委員会が主催する「いきいき県民カレッジ」（本部：生涯学習推進センター）の講座として参加していますので、受講修了者にはいきいき県民カレッジの単位が認定されます。

※本学の単位は認定されません。

1. 受講資格	令和2年4月1日現在、満18歳以上で、半年間継続して積極的に学習する意欲のある方。学歴不問。
2. 募集科目及び定員	次頁「公開科目一覧表」参照 なお、申込が定員を超過した場合は、受講をお断りすることがあります。 履修登録学生がいない等の理由により、開講されない場合があります。
3. 申込科目数	1人3科目以内とします。 (前期3科目、後期3科目の年間最大6科目まで申込ができます。)
4. 受講料	雑費として、1科目につき1,000円を徴収します。(料金は受講決定後に納入してください。) なお、科目により教材等を購入していただく場合があります。
5. 募集期間	令和2年1月17日(金)～ 令和2年2月7日(金) (2月7日(金)消印有効)
6. 申込方法	以下の書類を持参または郵送(簡易書留)により、申込先に提出してください。 (1) 受講申込書(別紙1)を1受講科目毎に1枚 (2) <u>140円切手</u> を貼付した返信用封筒(角2号(240×332mm))を1通 *宛名にご自分の住所、氏名等を記入してください。 *複数科目お申込みの場合でも返信用封筒は1通のみです。 持参の場合：事務局②窓口 8時30分～17時15分(土日・祝日除く)
7. 申込先	新潟県立大学 教務学生課 特別受講生担当 〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬 471番地 TEL：025(270)1302(直通) FAX：025(270)5173
8. 受講者の決定	受講の可否は、3月上旬に志願者あて文書で通知します。 受講許可を受けた人には必要書類を送付しますので、それに基づき手続きを行ってください。
9. 修了証書の授与	修了にあたっては、2/3以上の出席が必要となります。受講修了者には、修了証書を授与(郵送)します。ただし、本学の単位取得はできません。 なお、担当教員の判断により課題等の提出を課せられることがあります。
10. いきいき県民カレッジの単位認定	受講が許可された方は、「いきいき県民カレッジ」に入学となります。 なお、受講手帳が必要な人は、受講申込書の「いきいき県民カレッジ単位認定」欄の「手帳希望」に○印を付けてください。
11. 通学方法	公共交通機関を利用してください。駐車場に余裕がありませんので、原則として自家用車による通学は認めておりません。 ※障害者手帳の交付を受けている等の特別な事情がある場合は、事前にご相談ください。

令和2年度特別受講生公開科目一覧表(前期)

No	科目名	教員名	講義形式	曜日	時限	募集人数
1	ロシア史	中谷 昌弘	講義	月	2	制限なし
2	基礎韓国語 I	金 世朗・櫻澤 亜伊	演習	月2・火3		若干名
3	基礎韓国語III	山田佳子・許元眞	演習	月2・木2		若干名
4	中国語IB(読解基礎)	後藤 岩奈	演習	月4・金4		5
5	近代中国の社会と文学	後藤 岩奈	講義	月	5	5
6	ロシア語IB(基礎CALL)	水上 則子	演習	火2・木2		3
7	日本外交論	信田 智人	講義	火	3	制限なし
8	ロシア言語文化論A(伝統文化と社会)	外国人語学講師・水上則子	講義	水	3	若干名
9	言語学	柳町 裕子 他	講義	水	3	5
10	文化人類学	木佐木 哲朗	講義	水	4	5
11	日本国憲法	堀江 薫	講義	水	5	5
12	地中海文化史	高橋 秀樹	講義	木	3	若干名
13	地域社会論	山中 知彦	講義	木	3	若干名
14	哲学・倫理学	石川 伊織	講義	木	4	5
15	新潟県の子ども・子育て支援	植木 信一・角張 慶子	講義	木	4	5
16	アジア地域の交流と統合	権 寧俊 他	講義	木	5	制限なし
17	ロシア民俗概論	水上 則子	講義	金	1	5
18	哲学	石川 伊織	講義	金	2	5
19	西洋音楽	石井 玲子	講義	金	2	5
20	東アジア史	権 寧俊	講義	金	2	5
21	Lecture for Academic Skills I	Adamson, John Lindsay ・Stoeckel, Timothy Richard	演習	金	3	10
22	アメリカ表象文化論	小谷 一明	講義	金	3	5
23	日露交流史	澤田 和彦	講義	集中講義 ※下記、【授業期間】 参照		若干名

【 授業期間 】 前期 4月8日(水) から 7月29日(水)まで
集中講義「日露交流史」 9月7日(月) から 9月11日(金)まで

【 時 限 】 1限 8:50 ~ 10:20 2限 10:35 ~ 12:05 3限 13:00 ~ 14:30
4限 14:45 ~ 16:15 5限 16:30 ~ 18:00

注意 授業の曜日・時限は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

講義概要

注) テキスト、その他の教材等の指示がないものについては開講時に指示します。

前期

1. ロシア史

担当教員 中谷昌弘

隣国ロシアの歴史のうちロシア帝国を中心に、ロシア史の基本的な流れを理解することを到達目標とします。特に近代ロシア史を理解することで、現代ロシアの政治や経済、社会、文化について理解を深める一助とします。なお受講に際して、ロシア語の知識はなくても構いません。

第1回：イントロダクション：ロシアとは？

第2回：キエフ・ルーシの成立とキリスト教の受容

第3回：キエフ・ルーシの分裂とタタールのくびき

第4回：モスクワの誕生と発展

第5回：イワン大帝（三世）

第6回：イワン雷帝（四世）

第7回：動乱の時代

第8回：ピョートル大帝

第9回：女帝の時代

第10回：エカテリーナ大帝（二世）

第11回：アレクサンドル一世

第12回：ニコライ一世

第13回：大改革時代

第14回：アレクサンドル三世

第15回：ニコライ二世

2. 基礎韓国語Ⅰ

担当教員 金世朗・櫻澤亜伊

「基礎韓国語Ⅰ」では、韓国語の基礎を学びます。韓国語ネイティブ教員と日本語ネイティブ教員とが1コマずつ担当する週2コマの授業です。韓国語の文字と発音を習得した後、あいさつ言葉をはじめ、日常会話に必要な基本的な表現を身に付けます。授業では教科書を用いますが、学んだことは、ペアやグループで練習を行うのでクラスのメンバーと積極的にかかわることが求められます。また、教科書以外にも韓国に関する映像や歌などを用い、生きた韓国語に接するとともに、韓国の文化や社会について親しみを持ってもらうことを目標とします。

使用テキスト：山田佳子・金世朗著『韓国語の時間ですよ』（同学社）

3. 基礎韓国語Ⅲ

担当教員 山田佳子・許元眞

「基礎韓国語Ⅲ」では、韓国語の基礎的な知識をもとに様々な表現を学びます。韓国語ネイティブ教員と日本語ネイティブ教員とが1コマずつ担当する週2コマの授業です。「聴く」「話す」と「読む」「書く」を効率的に組み合わせ、コミュニケーションのための自然な韓国語を習得します。初めに基本的な言い回しを学び、次にそれを使って発信することによって、実際の場面に対応できる会話能力を身に付けます。

使用テキスト：李潤玉ほか（著）『改訂版・韓国語の世界へ 初中級編』（朝日出版社）

4. 中国語ⅠB(読解基礎)

担当教員 後藤岩奈

「言葉」は、人の感情、人の考え、様々な情報を伝達する媒介であると思われます。より多くの語彙、表現、より詳細な文法事項を身につけると、より正確な、より詳細な伝達ができるようになると思われます。この授業の目標としては、現代中国語の基本的な語彙、表現、文法を身につけ、基礎運用能力を養うことを目標とします。授業内容としては、中国語概説から始め、声調、単母音、二重母音、三重母音、子音の発音練習、それ以降は教科書に沿って進めます。随時、会話、作文、暗誦の練

習をやります。授業では大きな声を出してもらいます。授業には必ず辞書を持参して下さい。教科書は王孝廉ほか編『中国語ベーシック』（中国書店）を使用します。

5. 近代中国の社会と文学

担当教員 後藤岩奈

1840年のアヘン戦争から抗日戦争に至るまでの文学史の流れを追い、それぞれの時代の代表的な作家とその作品を紹介し、その分析を通して、それぞれの時代はどのような政治状況、社会状況であったのか、その中で人々は、どのような生活をし、何を考え、どのように生きていたのか、について考えてみたい。主なテーマは、清末の文学状況、「五四」新文化運動、魯迅の文学、「文学研究会」の作家と作品、「創造社」の作家と作品、1930年代の文学状況、抗日戦争期の文学状況。

6. ロシア語 I B(基礎 CALL)

担当教員 水上則子

週に2コマ開講される授業であり、2コマとも出席できることが必須条件となる。ロシア語を学んだことがない人を対象とするもので、アルファベットの読み書き、ロシア語音声の発音上の特徴を学んだ上で、初級文法と基本語彙を反復練習によって習得し、平易な会話力を身につける。あわせて、コンピュータでロシア語を学習するために、キーボードからロシア文字を入力する練習も行う。このため、コンピュータ使用経験がない人は履修が困難である。また、辞書・教科書等の教材購入に費用がかかることにも留意されたい。

7. 日本外交論

担当教員 信田智人

このクラスでは、日本外交の歴史と現在に至るまでの展開を理解できるようになるのが目的である。まず、江戸時代から第二次世界大戦、占領期、冷戦期、ポスト冷戦期を通じた外交史について学ぶ。

授業内容： 第1回 幕末以前の日本外交、第2回 東アジアの旧国際秩序の崩壊、第3回 米国による日本開国から明治維新まで、第4回 異なる経験：日本と中国、第5回 ワシントン・システムから太平洋戦争まで、第6回 日米両国と第二次世界大戦、第7回 敗戦、占領期、安保条約、1945-52、第8回 1955年体制、1952-60、第9回 日本の復活、1960-80、第10回 経済大国としての日本1980-90、第11回 冷戦の終結 1990-2000、第12回 小泉政権、第13回 民主党政権、第14回 安倍政権、第15回 まとめ

8. ロシア言語文化論A（伝統文化と社会） 担当教員 外国人語学講師・水上則子

「ロシアのことわざ」をテーマとして、ロシア人教員によって、ロシア語のみで行われる講義である。中級～上級者を対象としており、本学においてロシア語科目を履修したことがない人については、必要に応じて語学力の審査を行う場合がある。履修に際しては、教科書の購入（2000円程度。開講時に指示する）と、露和中辞典（「研究社露和辞典」が望ましい）が必要である。

9. 言語学

担当教員 柳町裕子 他

3人の教員によるオムニバス科目。言語について様々な側面からアプローチする言語学入門。言語のしくみと働きや、人間や社会と言語の関わりについて学び、言語の普遍性と多様性を理解することをめざす。日本語・英語・諸言語のデータに基づき、自分のことばを科学的に見ることや、世界の言語を相対的に見ることや学ぶ。また、人間の言語の特徴や言語習得の過程を学ぶことで、ことばの意味を問いただす。各教員が参考資料を配布する。英語版の資料も含む。

（柳町裕子／9回）総論、意味論

（佐藤英志／3回）統語論・形態論

（太田正之／3回）音韻論

10. 文化人類学

担当教員 木佐木哲朗

多様な社会の人々が育んできた文化の比較研究である文化人類学の入門講義です。まず、文化の担い手としての民族の概念を整理して、人間が後天的に身につける文化の概念規定をおこない、民族や文化に深くかかわる言語の特性も検討します。そして、文化人類学という学問の足跡をたどりながら、それぞれの関心や方法論あるいは解釈を考察します。また、文化は多様であるばかりでなく、それぞれの文化は相対的な存在であることを多少なりとも実感できればと思います。

テキストはとくに指定せず、適宜参考図書を紹介したりプリントを配布します。最後に、レポートの提出もお願いします。

11. 日本国憲法

担当教員 堀江薫

憲法学上のさまざまな基礎的な知識の習得と基礎理論の理解を図るとともに、身近な問題から国際的課題までの多様な問題を憲法学的視点から考察して、憲法や関連諸法令の解釈を行い、各種の人権とそれを実効的に保障するための統治機構のあり方を検討することによって、法的思考力の養成を図ります。

憲法のもとでは、人間は尊厳性を有し、自由・平等であり、また、立法・行政・司法の統治機構は、権力の分立と、相互の抑制・均衡により、基本的人権をよりよく保障するために存在する、という建前になっています。しかし、人間はどちらかといえばグウタラですし、人間がつくる社会や国家・国際社会も理想的なものではありません。そこで、憲法が定めている人権が、歴史上存在した、個人間の差別や相互の人権侵害、国家権力による人権侵害などの反省の上に立つものであること、現在では、制定時には予想もしなかったさまざまな問題が生じていることなどについても考察することになります。

テキスト 芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法 [第6版]』岩波書店2015年（3100円+税）

12. 地中海文化史

担当教員 高橋秀樹

古代東地中海世界の一翼をなしたエジプト人の世界とフェニキア人の世界の歴史を取り上げる。エジプトについては、先史時代から統一王朝の発生、二度の分裂期を経ながらもアフリカ東北部からシリア・パレスチナ地方に広がる一大文明圏を形成していった様相を解説し、フェニキアについては、比較的貧しい地域に芽生えた都市の人々がどのように発展していき、周辺の巨大帝国との葛藤の中で生きのびていったか、解説する。

13. 地域社会論

担当教員 山中知彦

身近な新潟から世界の各地域にわたる様々な事例を通し、現代の多様な生活空間における人々の行動、社会構造などの特徴とその変化について知り、あわせてそれらの基層にある地域の文化について理解を深めることを目的とする。各回授業計画は、本学ホームページ上のオンライン・シラバスを参照。履修条件：指定教科書である「地球の住まい方見聞録」（芙蓉書房出版）を購入すること。なお、教科書は最初の授業で著者割引価格で頒布します。

14. 哲学・倫理学

担当教員 石川伊織

基礎教養の哲学入門で展開した議論を、哲学・倫理学上の概念の成立史をたどることで、より専門的に考察する。本講義の第一の目標は、ヨーロッパの哲学の諸概念がどのように成立したかを検討することである。第二の目標は、こうして成立した概念がどのように日本で受容されたかを、翻訳語の成立を通して考察することである。翻訳の過程で生じて来る彼我の間での意味のズレを考察する。参照するテキストは、石坂正英他編『哲学・思想翻訳語事典』（論創社2003）。前半は石川が概論を講義し、後半は受講者による研究発表を行う。

15. 新潟県の子ども・子育て支援

担当教員 植木信一・角張慶子

授業の目標は、新潟県内の「子ども家庭福祉」「子育て」「子育て支援」の実際を理解することである。新潟県内で実践されている子ども・家庭のための福祉活動やボランティア活動の実際を紹介しながら、関連する施策や具体的な課題を理解する。

さらに、社会全体で子育てを支えることの重要性、子育て中の親の心理、新潟県内で取り組まれている「子育て支援」の実際といったテーマを通して、受講生それぞれが身近なこととして「子育て」について考える。同時に子どもおよび親の育ちを支える「子育て支援」についての理解を深める。

16. アジア地域の交流と統合

担当教員 権寧俊 他

【授業目標】

アジアには様々な発展段階、異なる政治体制の国家があり、ヨーロッパなどの地域に比べても地域の協力や統合への道のりは険しいといえる。しかしながら、近年、この地域にはASEANを中心とする重層的な地域協力の枠組みが、着実に構築されてきていることも事実である。そして、国を超えた人々の交流や物流などを通してゆるやかな統合が模索されている。そこで歴史、政治、経済、環境、文化などの与件を踏まえ、「アジア共同体」の実現の可能性を国内外の具体的な地域の事例に触れながら検

話し、様々な問題を発見することを目標とする。

【授業計画】

以下の計画は確定ではなく、現在調整中です。一部計画の変更やスケジュール変更があると思われる場合があります。確定計画は第1回授業の際にお知らせします。

- 第1回：イントロダクション
- 第2回：いま、なぜアジア共同体なのか
- 第3回：アジアにおける人権保障機構創設の可能性
- 第4回：アジア共同体と東アジア国際関係
- 第5回：東南アジア・沖縄から考えるアジア共同体
- 第6回：東南アジア地域社会から考えるアジア統合
- 第7回：西アジアの連帯・統合
- 第8回：南アジアの連帯・統合
- 第9回：歴史から見たロシアとアジア関係
- 第10回：東アジア共同体の形成を妨げてきたもの
- 第11回：日中関係から見た東アジア共同体
- 第12回：台湾とアジア統合
- 第13回：日韓関係と東アジア地域協力
- 第14回：北朝鮮と北東アジア
- 第15回：まとめ／権寧俊

【備考】：今年度に限って受講生の人数制限はありません。

17. ロシア民俗概論

担当教員 水上則子

ロシア文化の最大の特徴の一つといえるのが、豊富なフォークロア遺産である。本講義では、言語によるフォークロア、すなわち、民話、英雄叙事詩、叙事歌謡、叙情歌謡、ことわざ、なぞなぞ等の言語芸術作品と、伝統的な儀礼、民間信仰、民間暦、伝承などをとりあげる。採録されたフォークロア作品に触れるだけでなく、文学や映画などに形を変えて取り入れられたり、影響を与えたりしている事例についても考察する。ロシア語の知識は必要としないが、英語資料を使用する回があるので、基本的な英語力を必要とする。

18. 哲学

担当教員 石川伊織

哲学には広義と狭義の二つの意味がある。本講義では、倫理学と美学を含む広義の「哲学」への導入を行う。テーマは「人間とは何か・大人になるとはどういうことか」。「人間とは何か」とは、「自分とは何か」と同義であるが、これは自分が人間社会の一員であることを自覚することでもある。その一方で、人間は自然の一部でもある。環境と社会を考えることなしに、人類の生存はおぼつかない。本講では古典の輪読を通してこれを共同で考えることとする。最初のテキストとしてプラトンの『饗宴』を取り上げる。これを読み上げたら、次は、デカルトの『方法序説』を読む。テキストはどちらも岩波文庫。学生も特別受講生も含めた受講生全員が、必ず自分の分担以外のところも精読して、報告・討論に加わらなくてはならない。『方法序説』も読み終えた際は、さらに別のテキストを取り上げることとする。

19. 西洋音楽

担当教員 石井玲子

中世から20世紀までの西洋音楽（中世、ルネサンス、バロック、古典派、ロマン派、20世紀）の概観を学び、各時代における代表的な作品を鑑賞する。DVD、CDを用いるとともに生の演奏も交えながら、管弦楽曲、室内楽、ピアノ曲、声楽曲など様々な演奏形態の曲を聴くことを中心に進めていく。

この講義を通じて、音楽を聴く「耳」を育て、異なる時代や文化の音楽を理解することによって、受講生一人ひとりが豊かな音楽経験を得られることを目標としている。なお、図書館の視聴覚設備を使い、講義で取り上げられた作品（図書館の「西洋音楽リザーブ CD・DVD」）を繰り返し聴くことが課題となっている。

20. 東アジア史

担当教員 権寧俊

東アジア歴史について基本的な知識を学ぶことを目標とする。とくに、近現代の日本と中国・朝鮮との関係を中心に行なう。まず、近代日本における対アジア政策の展開過程を検討する。その後、ア

ジア太平洋戦争期（1941～45年）までの東アジアにおける日本の侵略と対日抵抗の展開について考察する。また、東アジア諸国が共有する諸問題を取りあげ、それを通して「東アジアの現在」を理解すること、さらに「これからの東アジア」という今日の問題に取り組めるよう理解を深める。

21. Lecture for Academic Skills I 担当教員 Adamson,John Lindsay・Stoeckel, Timothy Richard

この講義は、学生のアカデミックなリスニングとライティングのスキル・アップを目的としています。単語力も養い、ライティングの力を付けるため、定期的に宿題を課します。授業の履修条件として、ノートや宿題を整理するファイルの購入が必須です。ファイルの整理も評価の対象となります。授業外での「special lecture」などはボーナスポイントとして追加されます。

22. アメリカ表象文化論 担当教員 小谷一明

多様な文化が混在する米国社会をとおり、どのように異文化同士が遭遇し、どのような「アメリカ」のイメージが編み出されてきたのかを文化史的に学ぶ。

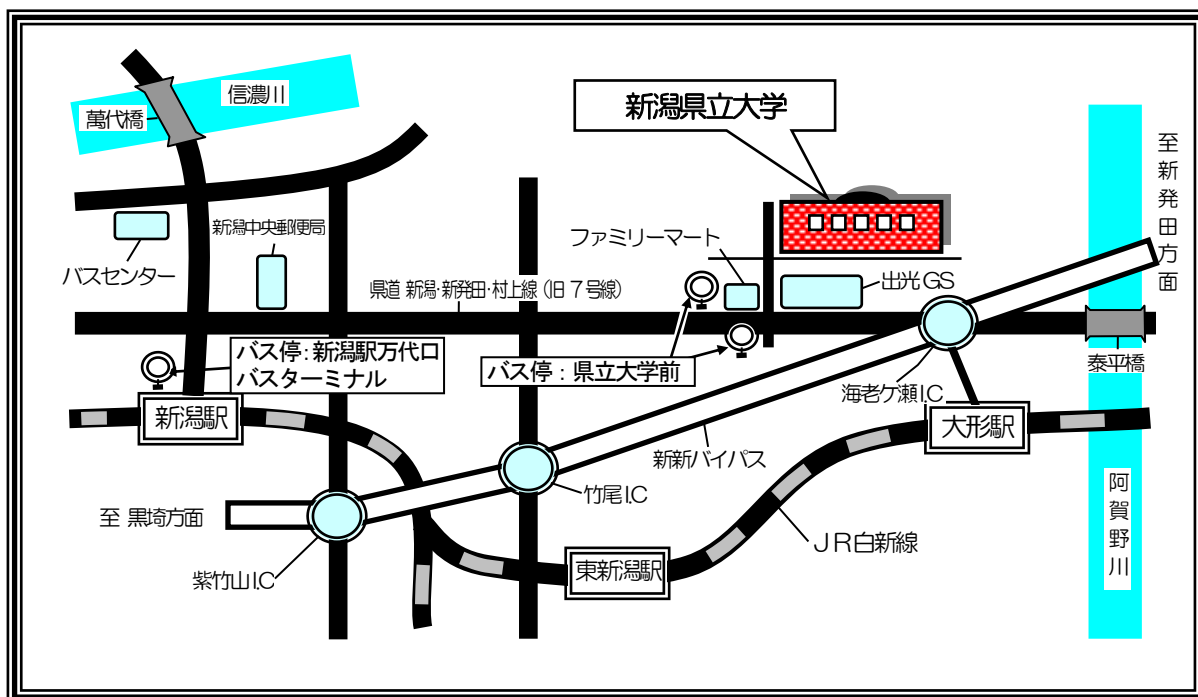
主に15世紀の「大航海時代」から現在に至る社会文化に焦点を当て、文学作品や映像作品を用いながら、アメリカ像の生成と変容について論考したい。たとえば「魔女狩り」や「アメリカン・ドリーム」に関するイメージや言説は、アメリカ像を構築するために様々な場面で繰り返し利用されてきた。この授業をとおりアメリカの過去と今の関連性を考える視点から米国をとらえなおしていきたいと考えている。そのためにも米国内のマイノリティ、アメリカの関係国・諸地域において抱かれるアメリカ像についても言及し、米国発のアメリカ像との比較をしていきたい。なお授業は学生の発表形式で進めていく。配付資料も含め、英語表現にも注目していく。

23. 日露交流史 担当教員 澤田和彦

江戸時代の日露関係の歴史を以下のような内容でたどる。9月7～11日に集中講義で行なう。

- 1 初期の日露関係
- 2 大黒屋光太夫の漂流とラクスマンの来航
- 3 レザーノフの来航
- 4 フヴォストーフ・ダヴィードフ事件
- 5 ゴロヴニーン事件と高田屋嘉兵衛
- 6 プチャーチンの長崎来航
- 7 プチャーチンの下田来航
- 8 幕末遣露留学生
- 9 長崎とロシア文化
- 10 函館とロシア文化
- 11 越後人とロシア

【 アクセス 】



- 経路1 新潟駅万代口バスターミナル11番のりばから「大形線」に乗車（所要時間約25分/片道340円）
「県立大学前」バス停下車、徒歩2分
※「津島屋」行きのみ「県立大学前」に停車しませんので、ご注意ください。
- 経路2 白新線 JR大形駅下車（所要時間約12分/片道200円）、徒歩約15分。



新潟県立大学

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬 471 番地

TEL (025) 270-1302 (教務学生課直通)

FAX (025) 270-5173

URL <http://www.unii.ac.jp/>

令和 2 年度特別受講生（前期）受講申込書

令和 年 月 日

新潟県立大学長 様

令和 2 年度の特別受講生として、貴学の科目を受講したいので下記のとおり申し込みます。

記

ふりがな		生 年 月 日	年 齢	性 別
氏 名		昭・平 年 月 日	歳 令和 2 年 4 月 1 日現在	男・女
住 所	〒 電話 — — 緊急連絡先 — — メールアドレス @			
職 業	【必ず記入してください。（○印を付ける。）】 1. 会社員 2. 公務員 3. 教職員 4. 主婦 5. 学生 6. 無職 7. その他（ ） 勤務先 電話 — —			
希望科目	科目 NO.	科目名	担当教員氏名	
希望理由	【希望の動機、関心のある事項等を具体的に記入してください。】			
いきいき県民カレッジ 単位認定	1. いきいき県民カレッジの単位認定を希望する人は「1. 希望する」に○印をつけてください。受講修了時に単位認定シールを送付します。 (1. 希望する 2. 希望しない) 2. 単位認定シールは、「いきいき県民カレッジ受講手帳」に貼付します。単位認定を希望する人で手帳が必要な人は1、すでに手帳をお持ちの人は2に○印を付けてください。 (1. 手帳希望【1冊目(50～200単位)、2冊目(300～500単位)】 2. 手帳所持)			
既往症	※既往症のある方はご記入願います。			

※1科目につき1枚提出してください。複数科目の受講を希望する場合は、コピーして使用してください。